

平成29年度

児童・生徒の学力向上を図るための調査

報告書

平成30年3月

青梅市教育委員会

はじめに

青梅市教育委員会 教育長 岡田 芳典

本報告書では、東京都教育委員会が実施している平成29年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」における各問題の結果分析と、今後の授業改善のポイントを掲載しております。

学力調査には、児童・生徒の学力の実態を明らかにすることによって、それぞれの教師が授業改善を図るとともに、児童・生徒個々に着目して、確かな学力を育むという目的があります。新学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善に生かすために、小学校では国語、社会、算数、理科の4教科、中学校では国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科において東京都の学力調査が実施されています。児童・生徒が、疑問に感じた問題をそのままにしないように、教師には、児童・生徒が理解できるまで繰り返し指導を行うという責務があります。子供たち一人一人の誤答の傾向や到達度を把握し、個に応じた指導の一層の充実をお願いいたします。

また、平成24年度から本学力調査は自校の教員による採点となりました。教員が、児童・生徒の学習到達度を把握し授業改善に生かすことはもとより、迅速に児童・生徒へ結果を返却し、児童・生徒自身にも、学習到達度を把握させるという目的があります。本趣旨をご理解いただき、調査の実施、採点、分析等を行っていただきました各学校の先生方に深く感謝いたします。

本報告書では、青梅市全体の調査結果を公表するとともに、青梅の子供たちの特徴的な結果について、その調査内容の「結果分析」および授業改善の具体的な在り方を「授業改善のポイント」として示しております。巻末には、今年度も、青梅市学力向上アドバイザーである東京女子体育大学常任理事の田中洋一教授より指導・助言をいただいた学力向上推進委員会の取組を紹介しております。各学校におかれましては、この「結果分析」および「授業改善のポイント」、そして田中教授の指導・助言を参考にいただき、授業改善推進プラン等に生かしていただきますようお願いいたします。

結びに、青梅市教育委員会の学力向上施策に、御尽力いただいた全ての皆様に、改めて深く御礼を申し上げます。

平成29年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査 報告書

目 次

◇はじめに

◇目 次

◇調査の概要	-----	1
1 調査目的	2 調査対象	3 調査内容
4 調査方法等	5 調査結果の公表	6 調査実施日

第1章 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校)

I 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校)の概要	-----	4
1 調査実施の趣旨		
2 調査問題作成の基本方針		
3 調査項目		
II 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(小学校)の結果について		
1 調査結果の概要	-----	5
2 各教科の問題ごとの正答率一覧と正答数分布		
(1) 国語 (2) 社会 (3) 算数 (4) 理科	-----	6
(5) 青梅市の合計正答数の人数分布(小学校第5学年)	-----	10

第2章 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(中学校)

I 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(中学校)の概要	-----	13
1 調査実施の趣旨		
2 調査問題作成の基本方針		
3 調査項目		
II 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(中学校)の結果について		
1 調査結果の概要	-----	14
2 各教科の問題ごとの正答率一覧と正答数分布		
(1) 国語 (2) 社会 (3) 数学 (4) 理科 (5) 外国語(英語)	-----	15
(6) 青梅市の合計正答数の人数分布(中学校第2学年)	-----	20

第3章 学習に関する意識調査

I 小学校における学習に関する意識調査について-----	23
1 調査の概要	
2 調査結果の概要	
3 指導の改善に向けて	
II 中学校における学習に関する意識調査について-----	36
1 調査の概要	
2 調査結果の概要	
3 指導の改善に向けて	

第4章 青梅市教育委員会の学力向上に関わる取組について

I 青梅市教育委員会の学力向上に関わる取組について -----	51
II 青梅市学力向上5ヵ年計画 -----	52
III 学力向上推進委員会の取組 -----	53
1 学力向上推進委員会	
2 推進委員会取組経過	
3 学力向上推進委員の構成について	
4 研究授業について	
IV 学カステップアップ推進地域指定事業の取組-----	63

参考資料

- ◇ 平成29年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」
授業改善のポイント（東京都教育委員会より）

調査の概要

1 調査目的

- (1) 都教育委員会は、学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況および、読み解く力に関する定着状況を把握し、全都における教育行政施策に生かす。
- (2) 区市町村教育委員会は、教育課程や指導方法等に関わる自地区の課題を明確にし、その充実・改善を図るとともに、自地区の教育行政施策に生かす。
- (3) 各学校は、教育課程や指導方法等に関わる自校の課題・解決策を明確にし、児童・生徒一人一人の学力向上を図る。
- (4) 都教育委員会は、都民に対し、東京都の公立小・中学校における児童・生徒の学力の状況について、広く理解を求める。

2 調査対象 ※（ ）内は東京都全体

調査対象学年	調査を実施した学校数	調査を受けた児童・生徒数
市内（都内公立）小学校5学年	17（1,285）校	1022（91,434）名
市内（都内公立）中学校2学年	11（625）校	1025（72,601）名

3 調査内容

- (1) 児童・生徒の学力向上を図るための調査
 - ・小学校第5学年…国語、社会、算数、理科
 - ・中学校第2学年…国語、社会、数学、理科、外国語（英語）
- (2) 学習に関する意識調査＜調査対象の全児童・生徒＞ ※本報告書に結果掲載
- (3) 学校に関する質問紙調査＜調査対象の全学校＞ ※青梅市のみを集計なし

4 調査方法等

- (1) 児童・生徒の学力向上を図るための調査は、国語、社会、算数・数学、理科、外国語（英語）の学習指導要領に示されている目標や内容にもとづいた事項および読み解く力に関する事項について、ペーパーテスト形式により調査する。
- (2) 学習に関する意識調査は、児童・生徒の学習や生活に関する意識や生活状況などについて質問紙形式で調査する。
- (3) 学校に関する質問紙調査は、学校における指導方法に対する取組や児童・生徒の学習環境、生活習慣などについて質問紙形式で調査する。

5 調査結果の公表

- (1) 報告書による結果の公表
 - ・各教科の観点ごと、読み解く力ごとの正答率（青梅市および東京都全体）
 - ・各教科の問題ごとの正答率（青梅市および東京都全体）
 - ・各教科の正答数分布（青梅市および東京都全体の調査結果）
 - ・児童・生徒質問紙調査集計結果（青梅市、都抽出校）※学校質問紙集計結果は、東京都の報告書参照
- (2) 各教科の問題ごとの結果分析について
 - ・青梅市全体および抽出校の調査結果にもとづき、分析した。※抽出校とは無作為抽出により選定した都全体の調査実施校の約10%にあたる学校である。

6 調査実施日

平成29年7月6日（木）